

フィンランド・ケニア・ウガンダ・日本の4カ国での国際交流

2021年9月29日(水)、本学とフィンランドのセイナヨキ応用科学大学(Seinäjoki University of Applied Sciences)、ケニアのマセノ大学(Maseno University)、ウガンダのクラーク国際大学(Clarke International University)の4カ国の看護系学生による、各国および多国間における看護・保健ニーズについて理解し、新たな視点で「持続可能なヘルスプロモーション」のためのソリューションの考察することを目的とした、オンライン国際交流を開催しました。

各国の学生がそれぞれ自国の保健医療福祉制度、健康課題や看護・地域保健活動について事前学習し、プレゼンテーションを行い、その後ディスカッションを行いました。

コロナ感染症蔓延の影響で、1年半以上も海外派遣ができず、国際交流が困難な中ですが、コロナ禍でなかったら、日本と3カ国の時差6時間、ケニア・ウガンダとは11,000km以上も離れた国々との4カ国間の参加学生40名を超える国際交流は出来なかったかもしれません。

アフリカ、北欧、アジアと環境や文化が異なる国の状況を知る事により、国内外の健康課題やその解決方策により一層の興味を持ち、将来の渡航研修への参加意欲の向上を感じる貴重な機会となりました。



<プログラムの様子>



<セイナヨキ応用科学大学の皆さん>